

行雲流水

No.157 令和4年1月25日発行

今、まさに「第6波」との総力戦だ!!

校長 寒河江 正人

1月21日(金)、**74人**。22日(土)、**85人**。23日(日)、**60人**。
昨日24日(月)は、**123人**、そして、ついに本日25日(火)は、**153人**となった。
わずか**4日の間で100人を超え、2倍に急増**しているではないか。

もはや、新型コロナ「**第6波**」の**猛威**は、とどまるところを知らない。
この状況を受け、県は「**まん延防止等重点措置**」の適応を政府に要請し、**本日決定**する。

一方、**県医師会**^{なかのめちゆき}の中目千之会長は、以下の内容に言及している。

- 1 人流を抑制すべき。
- 2 県独自の緊急事態宣言にかじを切るべき。
- 3 エリアを絞った対応をとるべき。
- 4 不安のある人は、無料のPCR検査を受けること。
- 5 部活動は、2月末頃まで**全面禁止**を検討すべき、など。

内陸・村山地方は、山形市など隣接市町にて、**新規感染者が頻出**しているということは、**通勤・通学等での人流は止められない**ので、本市においても感染拡大が生じるのは、**必定**。

現在も実施している「**朝の検温・健康観察**」を徹底し、**日昼の変調への対応**も含めて、**発熱等の不調を訴えたら、迅速に保護者へ連絡し、引き渡し、医療機関を受診させること**。

授業と授業の業間には、**生徒まかせにせず、授業者自身が「換気」を徹底**すること。

人流の抑制を図るために、生徒・保護者に求めるのと同様に、**私たち教職員とその家族も、当面は「不要不急の外出」と「県境をまたぐ往来」は、自粛**すること。

こうした状況を受け、**東根市教育委員会と相談の上、本日より「部活動・スポ少の休止」**を判断し、**神町小学校・大森小学校にも周知**した。

当面、私立高校の一般入試・公立高校の推薦入試は、何としても安全にやり遂げさせたい。